事業番号 2-2

平成28年度

事業シート（概要説明書）

予算事業名	子育て支援予防接種助成事業	事業開始年度	平成18年度
上位施策事業名	健康管理を充実し、病気の予防を図る	担当局・部名	こども部
根拠法令等	加古川市子育て支援予防接種助成事業実施要綱	担当課･係名	育児保健課 母子保健係
事務区分	■自治事務　□法定受託事務	作成責任者	宮北　敏勝
実施の背景	現在、本市においては、予防接種法に基づく定期予防接種（無料：全額公費負担）として、結核（BCG）、Hib（ヒブ）、小児用肺炎球菌、四種混合、急性灰白髄炎、二種混合、水痘、麻しん風しん混合、日本脳炎、子宮頸がんの各予防接種を実施している（子宮頸がんは積極的接種勧奨を差控え中）が、予防接種法に基づかない任意の予防接種は、法律上の義務はなく、保護者が医療機関に相談のうえ、その希望・判断により接種している。効果が見込まれる任意予防接種については、医療関係者を中心に接種が勧奨されているが、接種費用が安価ではなく、かつ全額自己負担であることから、接種は一部にとどまっている。		
目　的（何をどうしたいのか）	子育て家庭の経済的負担を軽減することで、ワクチン接種を促進し、疾病の発生（疾病の重症化、疾病による後遺症を含む）と集団感染を予防することにより、乳幼児の健康保持を図る。		

事業概要

対　象（誰・何を対象に）	市内に住所を有する1歳～３歳の者	対象者数（全住民に対する割合）	7,197　人（　2.7　%　）
実施方法	□直接実施		
	□業務委託 又は □指定管理　（委託先又は指定管理者：　）		
	■負担金　（負担先：加古川医師会　※協定締結　）		
	□貸付（貸付先：　）□その他（　）		

事業内容（手段、手法など）	事業内容（箇条書き）	事業費		活動指標
	接種助成券の印刷（定期予防接種とあわせて印刷）		千円	
	接種助成券の郵送（定期予防接種とあわせて郵送）		千円	接種助成券郵送者数
	対象者１名につき２千円の助成券を１枚郵送。１歳～３歳の期間に、おたふくかぜ、季節性インフルエンザのいずれか１つの予防接種の費用を１回助成する。	3,714	千円	
	使用接種券の確認・協定先へ支払い		千円	

関連事業（同一目的事業等）	予防接種事業（予防接種法に基づく法定事務事業）

コスト

		28年度（予算）				27年度（決算）				26年度（決算）				25年度（決算）			
事業費	**事業費合計**			**4,130**	**千円**			**3,714**	**千円**			**3,376**	**千円**			**3,890**	**千円**
事業費	事業費内訳（平成27年度分）	1,857人（接種者数）×2,000円（助成額）=3,714,000円 ［接種内容内訳：おたふくかぜ　1,611人、インフルエンザ　246人］															
人件費	担当正職員	0.1	人	764	千円	0.1	人	764	千円	0.1	人	764	千円	0.1	人	764	千円
人件費	臨時職員等		人		千円		人		千円		人		千円		人		千円
人件費	**人件費合計**	**0.1**	**人**	**764**	**千円**	**0.1**	**人**	**764**	**千円**	**0.1**	**人**	**764**	**千円**	**0.1**	**人**	**764**	**千円**
	総事業費			**4,894**	**千円**			**4,478**	**千円**			**4,140**	**千円**			**4,654**	**千円**

財源内訳

財源内訳	国県支出金				千円				千円				千円				千円
		国県支出金の内容															
	地方債				千円				千円				千円				千円
	その他特財				千円				千円				千円				千円
		その他特財の内容															
	一般財源			4,894	千円			4,478	千円			4,140	千円			4,654	千円
	財源合計			**4,984**	**千円**			**4,478**	**千円**			**4,140**	**千円**			**4,654**	**千円**

事業番号 2-2

平成28年度

事業シート（概要説明書）

予算事業名	子育て支援予防接種助成事業	事業開始年度	平成18年度

		【活動指標名】（実績値/目標値）	単位	H27年度	H26年度	H25年度
事業実績	活動実績	接種助成券郵送者数	人	2,264	2,285	2,330
	単位当たりコスト	総事業費 ／ 接種助成券郵送者数	円	1,978	1,812	1,997

事業成果	成果目標（指標設定理由等）	事業の目的が、ワクチン接種を促進し疾病の発生と集団感染を予防することにより、乳幼児の健康保持を図ることであり、ワクチンを接種すると医学的に確実に免疫がつくことから、対象者（３年間で１回使用となり厳密には一致しないが、接種率計算のため当該年度１歳人口と設定）のうち、どれだけの接種者があったか（接種率）を成果指標としている。				
	成果（目標達成状況）	【成果指標名】（実績値/目標値）	単位	H27年度	H26年度	H25年度
		接種者数	人	1,857	1,688	1,945
		（当該年度の１歳人口）	人	2,194	2,465	2,538
		接種率（接種者数/1歳人口） 目標値80%	%	84.6／80.0	68.5／80.0	76.6／80.0

事業の自己評価	事務事業評価結果	■拡充 □維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了 費用の一部を助成することによって乳幼児の疾病の発生と感染症のまん延防止に寄与していることから、今後も事業の継続は必要である。しかしながら、任意接種対象疾病の定期接種化など国の動向を見極めながら見直しを行う必要がある。
	今後の事業の方向性、課題等	乳幼児の健康と命を守ることは非常に重要であると考えており、また、医療現場からも行政において接種を促進するよう意見されている。国においては、平成２４年５月の予防接種制度の見直し提言において、おたふくかぜについては広く接種を促進することが望ましい旨、更にロタウイルスについても専門家の評価を行う旨が盛り込まれた。 このことから、本市においては、今後、効果が見込まれる任意予防接種の接種を更に促進するため、助成を行う予防接種の種類の拡充（ロタウイルス）や助成回数の増加を行いたい。なお、国において任意接種が定期接種化された場合は本事業の見直しを行っていく。
比較参考値（他自治体での類似事業の例など）		加古川市の近隣市で同様の任意予防接種助成を行っているのは、明石市、稲美町、播磨町、三木市 ①助成対象疾病 ②助成額 【加古川市】①おたふくかぜ、インフルエンザ ②2,000円／回×1回 【明石市】 ①おたふくかぜ、インフルエンザ、Ｂ型肝炎、ロタウイルス ②2,000円／回×2回 【稲美町】 ①おたふくかぜ、インフルエンザ、ロタウイルス ②2,000円／回×1回 【播磨町】 ①おたふくかぜ ②2,000円／回×1回 【三木市】 ①ロタウイルス ②2回又は3回で計14,000円
特記事項		

定期予防接種及び子育て支援予防接種（任意予防接種）の実施状況

種　別（定期接種）	対 象 者	平成27年度			
		対象者数	接種者数	接種率	接種費用（円）
結核（BCG）	1歳に至るまで	2,194	2,292	104.5%	20,297,952
Hib（ヒブ）	2か月～5歳に至るまで	8,868	9,009	101.6%	71,900,829
小児用肺炎球菌	2か月～5歳に至るまで	8,868	9,008	101.6%	101,664,288
四種混合 （百日せき・ｼﾞﾌﾃﾘｱ・破傷風・不活化ポリオ）	3か月～7歳6か月に至るまで	8,868	9,116	102.8%	95,991,480
三種混合 （百日せき・ｼﾞﾌﾃﾘｱ・破傷風）	3か月～7歳6か月に至るまで	8,868	1	0.0%	5,140
急性灰白髄炎 （不活化ポリオ）	3か月～7歳6か月に至るまで	8,868	421	4.7%	3,955,716
二種混合 （ジフテリア・破傷風）	11歳～13歳未満	2,438	1,841	75.5%	8,847,846
水痘	1歳～3歳に至るまで	4,570	5,081	111.2%	49,661,694
麻しん風しん混合	1期 1歳～2歳に至るまで	2,194	2,125	96.9%	25,474,500
	2期 小学校就学前の1年間	2,504	2,379	95.0%	25,179,336
日本脳炎	1期 6か月～7歳6か月に至るまで	7,301	7,088	97.1%	48,609,504
	2期 9歳～13歳未満	2,467	1,639	66.4%	11,063,250
	経過措置	―	1,261	―	8,511,750
子宮頸がん	小学校6年生～ 高校1年生女子	3,942	1	0.0%	15,630
定期予防接種の合計			51,262		471,178,915

種　別（任意）	対 象 者	平成27年度			
		対象者数	接種者数	接種率	接種費用（円）
（任意）おたふくかぜ	1歳～4歳未満 （対象者は1年分）	2,194	1,611	73.4%	3,222,000
（任意）インフルエンザ	1歳～4歳未満 （対象者は1年分）	2,194	246	11.2%	492,000
任意予防接種の合計	1歳～4歳未満 （対象者は1年分）	2,194	1,857	84.6%	3,714,000

※結核（BCG）、Hib（ヒブ）、小児用肺炎球菌、四種混合、三種混合、急性灰白髄炎（ポリオ）、二種混合、水痘、麻しん風しん混合及び日本脳炎の対象者数は標準的な接種年齢期間の総人口を12ヶ月相当人口に推計したものであることに対し、実績は各年度における接種対象者全体の中の予防接種を受けた人数であるため、接種率は100%を超える場合がある。

（参考）ワクチンで予防できる子どもの病気

病気の種類	病気の危険性
結核	結核菌が、主に肺について肺結核を起こす。子どもでは結核性髄膜炎や重い肺の病気で重症になったり、死亡したりする。
Hib（ヒブ）	ヒブ（ヘモフィルス・インフルエンザ菌b型）が血液の中に入り、細菌性髄膜炎、喉頭蓋炎や細菌性肺炎などを起こす。死亡や重い後遺症が残ることもある。
小児用肺炎球菌	肺炎球菌が血液の中に入り、細菌性髄膜炎や細菌性肺炎などを起こし、死亡や重い後遺症が残ることもある。重い中耳炎の原因にもなる。
百日せき	百日せき菌がのどなどにつき、せきが長く続くようになる。けいれんや肺炎を起こしたり、1歳未満、特に生後6か月以下では無呼吸で死亡したり脳症を起こすこともある。
ジフテリア	ジフテリア菌がのどについて、気道がふさがって息ができなくなったり、菌の毒素で神経麻痺や心臓の筋肉の炎症を合併して死亡することもある。
破傷風	破傷風菌が傷口から入って、菌の毒素で全身の筋肉がけいれんし、最終的には後ろに大きく弓なりの姿勢になり、痛みと苦しさを伴う。呼吸ができず死亡することもある。
急性灰白髄炎（ポリオ）	ポリオウイルスによる感染症。まれに手足に麻痺を起こし、運動障害が残る。
水痘	水痘帯状疱疹ウイルスの感染により赤い発疹が出て水ぶくれになり全身に広がる。脳炎や肺炎、皮膚の重い細菌感染症などがあり死亡することもある。
麻しん（はしか）	熱、鼻水、せきなどの症状のあと、全身に発疹が出て、高熱が7～10日続く。気管支炎、肺炎、脳炎等を合併しやすく、死亡することもある。（※治療薬なし）
風しん	体に赤い発疹がでる。まれに脳炎や血小板減少性紫斑病という合併症が起こることがある。妊娠初期の女性がかかると出生児への障害の原因となる。（※治療薬なし）
日本脳炎	感染した豚の血から蚊を介して日本脳炎ウイルスに感染する。脳炎を起こすと死亡や後遺症が残ることが多くなる。（※治療薬なし）
子宮頸がん	ヒトパピローマウイルスの感染が子宮頸がんの発生に関っていると考えられている。
（任意）おたふくかぜ	おたふくかぜウイルスが原因で起こり、耳下腺の腫れが目立つが、全身の炎症も起こす。約50人に1人の割合で無菌性髄膜炎が起こり、約1，000人に1人の割合で一生治らない重度の難聴になることがある。、毎年約30人に脳炎の合併症があり、脳障害が残ったり、死亡したりすることもある。（※治療薬なし）
（任意）インフルエンザ	インフルエンザウイルスによる感染症で、主に冬に流行する。高熱を伴い、気管支炎、肺炎などの呼吸器の病気や、脳炎・脳症（毎年約200人～500人）を起こし重症化しやすい。
（任意）ロタウイルス感染症	感染力が強く多くの乳幼児が感染する。激しい嘔吐や下痢、発熱を伴い、脱水症状やけいれんを起こしたり、脳炎（毎年約40人）や重い腎障害を合併することもある。毎年約80万人が外来を受診し、約8万人が入院、約10人が死亡する。

加古川市 任意予防接種助成券　　1歳～4歳未満

子育て家庭の経済的負担を軽減するために、任意予防接種費用の一部を助成いたします。次の予防接種をする際に2,000円の助成を行います。希望するものに○印をつけてください。

・おたふくかぜ（種類コード１）　・季節性インフルエンザ（種類コード３）

必ずご記入ください

有効期限（この期限を過ぎますと助成券は使用できません）	自宅の電話番号 （　　）

住　所	加古川市		
氏　名		生年月日	

整理番号	種類C	接種日
①　⑩	助	⑭　⑲

医師記入欄		
ワクチンメーカー		
Lot. No.		ml
医師氏名		

この助成券は、加古川市、稲美町、播磨町の指定医療機関で使用してください。
（高砂市及び明石市では使用できません）

この助成券は、他の助成券との併用はできません。

加古川市